

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
藤原・章・李・外部講師			

講義概要	この授業では、諸外国についてテーマに基づいて見聞を深める。 それと同時に私たちが住む日本の文化を客観的に捉える。 その中で、得た知識を実生活に結び付けて考えることを重要視し毎回の学びにしてほしい。		
授業計画	1	オリエンテーション	
	2	日本との関係について 諸外国の日本との関係について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	3	衣食住について1 諸外国の衣食住について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	4	衣食住について2 諸外国の衣食住について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	5	衣食住について3 諸外国の衣食住について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	6	産業について1 諸外国の産業について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	7	産業について2 諸外国の産業について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	8	言語について1 諸外国の言語について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	9	言語について2 諸外国の言語について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	10	外部講師 海外生活を送ったことのある外部講師を招き、現地の文化を学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	11	教育について1 諸外国の教育について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	12	教育について2 諸外国の教育について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	13	伝統について1 諸外国の伝統について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	

	14 伝統について2 諸外国の伝統について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 15 伝統について3 諸外国の伝統について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①世界には多様な文化があることを認識することができる。 ②世界の文化と比較し、日本文化の特徴を見出すことができる。 ③授業で得た知識を机上の知識ではなく、自分の経験と照らし合わせて考えることができる。 ④テーマに関する語彙を身につけることができる。 ⑤新聞等における世界のニュースを知り、実生活と結びつけて考えることができる。 評価方法 学習意欲 (40%) 試験 (60%)
教科書・参考書	教科書はない。適宜プリントを配布する。 参考書は授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜 4 コマ目 (14:50-16:20) に研究室へどうぞ。
備考・メッセージ	「知りたい」と思う気持ちを持つ人、大歓迎です。 積極的に調べ、積極的に人の話を聞き、積極的に発言をすることを期待します。